令和５年度

銚子市地域力創造アドバイザー業務

報告書

委託業者
総務省地域力創造アドバイザー　中川直洋
弥蔵舎株式会社

目 次

第1章 事業概要

1.1 目的----------P3

第２章 ワークショップ

----------P3

第３章 実施プロジェクト

3-1 地場産品ブラッシュアップ----------P15

3-2 移住定住プロジェクト----------P19

3-3 JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子----------P19

3-4 地域起業家のサポート----------P24

3-5 高校生起業体験プロジェクト----------P26

3-6 観光プログラム----------P33

3-7 銚子市民イベント～子ども食堂の取り組みについて----------P33

3-8 銚子市 PR 映像制作----------P34

第１章.　事業概要

目的

銚子市内の創業間もない事業者や新分野への事業展開を計画している事業者をサポートすることで、市内事業者の経営安定や事業拡大を図ることを目的とする。

1.1

第２章.　ワークシッョプ

2.1　ワークショップ報告について

第1回　ワークショップ開催（公民連携事業）

日時:4月11日（火）　場所:千葉科学大学

対象:千葉科学大学職員

内容:大学生と銚子との関わりについて、情報交換をしながら産官学連携事業を模索しました。今年度も、JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子を開催するので、参加者を募っていきたいと考えております。

第2回　ワークショップ開催（銚子市民イベント～子ども食堂）

日時4月11日（火）　場所:銚子チアーズ

対象:銚子市民、大手民間企業

内容:銚子市にて地域食堂についての関係者にヒアリングを行い、それぞれ、今後の具体的な提案となった。味の素社との具体的にプランを詰めました。今後は、具体的に銚子市民イベント～子ども食堂を開催する予定です。

第3回　ワークショップ開催（産官学連携事業）

日時:4月11日（火）　場所:三菱商事株式会社銚子支店

対象:三菱商事社員

内容:地域商社構想についてヒアリング、議論を深め、其々今後の具体的な提案となった。

第4回　ワークショップ開催（地域商社）

日時:4月11日（火）　場所:銚子市役所

対象:銚子市職員

内容:地域商社構想についてヒアリングを行い、議論を深めそれぞれ、今後の具体的な提案となった。

第5回　ワークショップ開催（地場産品ブラッシュアップ）

日時：4月12日（水）　場所：銚子市役所

対象：市民記者、銚子市職員、映像プロデューサー（村田淳一さん）

内容：銚子市映像のワークショップ。議論を深めそれぞれ、今後の具体的な提案となった。

第6回　ワークショップ開催（起業家サポート）

日時：4月12日（水）　場所：望月瑛司さんスポーツジム

対象：地域おこし協力隊 望月瑛司さん

内容：市内では初となるレンタルジム(時間利用のできる完全プライベート型ジム)「銚子　eGYM」をオープン。実際利用しての感想、アドバイスを行いました。

第7回　ワークショップ（銚子商業高校）

日時：4月12日（水）　場所：銚子商業高校

対象：銚子商業高校生徒

内容：銚子市の探求事業を通じてワークショップを開催しました。2つのプランができ、具体的に進めることができた。

第8回　ワークショップ（地場産品ブラッシュアップ）

日時：4月 25日（火）　場所：オンライン

対象：銚子市職員

内容：今後における映像コンテンツの活用等についてディスカッションを行いました。

第9回　ワークショップ（銚子商業高校）

日時：5月2日（火）　場所：銚子商業高校（オンライン）

対象：銚子商業高校生徒

内容：銚子市の探求事業のワークショップを開催。2つのプランができ、具体的に進めることができた。

第10回　ワークショップ（銚子起業家サポート）

日時：5月3日（水）　場所：オンライン

対象：JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子の発表者

内容：JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子発表後の進捗を確認。

第11回　ワークショップ（地場産品ブラッシュアップ）

日時：5月9日（火）　場所：銚子丸（オンライン）

対象：銚子丸幹部社員
内容：銚子丸の商品について、販路拡大など意見交換を行い、後日改めて面談して進めることになった。

第 12回　ワークショップ（地場産品ブラッシュアップ、観光振興）
日時：5月10日（水）　場所：銚子丸
対象：銚子丸社長他幹部、市長他担当
内容：銚子丸の商品のブラッシュアップ、販路拡大などに加え、インバウンドを含めた観光振興について、意見交換を行った。

第 13回　ワークショップ（観光プロジェクト）
日時：5月11日（木）　場所：オンライン
対象：観光関係者
内容：銚子市の観光ビジネスについて深掘りの議論を行い、銚子市のインバウンドの可能性について議論しました。

第 14回　ワークショップ（観光プロジェクト）
日時：5月15日（月）　場所：銚子市役所
対象：銚子市職員、地域おこし協力隊、観光関係者
内容：銚子市の映像でどのように進めていくかの議論を深掘りしていきました。

第15回　ワークショップ（地場産品ブラッシュアップ）
日時：5月15日（月）　場所：銚子市役所
対象：銚子市職員、地域おこし協力隊、株式会社パンクチュアル
内容：地場産品ブラッシュアップについて、地域おこし協力隊等と意見交換後に市職員とワークショップを開催した。

第16回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：5月15日（月）　場所：Hennery Farm（ヘネリーファーム）
対象：地域起業家、地元事業者
内容：坂尾さんが拠点とするヘネリーファームの視察を兼ねてワークショップを開催。サウナも体験。前回の JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子のチャレンジャーと今後について説明を受けアドバイスをさせていただきました。また宮本さんの「ろくでなしブルースハンバーガー」をチャレンジャー関係者と試食。よく試食では、みなさん「美味しいよ」と感想を言うけども、アマチュアではないので厳しい意見や感想を要求しました。舌は本当に正直で美味しければ売上に直結する。本当に美味しいものを求めていき、美味

しさのゴールはないと言ったものの美味しかった。課題は価格の高いハンバーガーは、僅差だと思う。この僅差の積み重ねが高価格は要求される。宮本さんのハンバーガーが一番美味しいシーンをお店で表現してほしいと思います。

第 17回　ワークショップ（起業家サポート）

日時：5月16日（火）　場所：銚子チアーズ

対象：佐久間快枝さん

内容：事業拡大の相談。新施設の視察を行い、事業のアドバイスをさせていただきました。

第 18回　ワークショップ（銚子商業高校）

日時：5月23日（火）　場所：オンライン

対象：銚子商業高校生徒

内容：起業体験プログラムの進捗の確認。2つの事業のブラッシュアップを行いました。

第19回　ワークショップ（公民連携事業）

日時：5月30日（火）　場所：オンライン

対象：三菱商事株式会社

内容：銚子市の地方創生事業のため、他社を紹介した事業提携についてディスカッションを行いました。

第20回　ワークショップ（観光ビジネス）

日時：6月9日（金）　場所：銚子市役所（オンライン）

対象：地域おこし協力隊、職員、民間事業者

内容：銚子市の観光ビジネスに繋げる映像制作の会議を持ちました。地元映像記者などを集め、皆さんから意見やアイデアを出していただき、今後の映像制作に向けて有意義なワークショップとなりました。

第21回　ワークショップ（起業家サポート）

日時：7月3日（月）　場所：銚子市　TAS

対象：宮本康正さん（JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子発表者）

内容：宮本さんが、ランチ限定で、ハンバーガー店を開くことになり、試食させていただきました。

第22回　ワークショップ（公民連携事業）

日時：7月3日（月）　場所：銚子市役所

対象：市長、副市長、銚子市職員
内容：移住定住についての今後の進め方について議論させていただきました。成功している地域おこし協力隊の受入れ地域などを紹介することで、成功事例を学び、銚子市でも活かしていくよう説明しました。

第23回　ワークショップ（地場産品ブラッシュアップ）
日時：7月3日（月）　　場所：銚子市役所
対象：地域おこし協力隊、銚子市職員
内容：地場産品ブラッシュアップについて、地域おこし協力隊などの意見を聞き、対策をとるように働きかけました。

第24回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月4日（火）　場所：銚子スポーツタウン
対象：安藤良一さん（JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子発表者）
内容：安藤さんの事業を改めて説明するため、カヤック社から派遣された地域活性化企業人の佐藤さんと面談。過去の経緯、進め方についてディスカッションを行い、今後に繋げていけるよう指導しました。

第25回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月4日（火）　場所：銚子ビール
対象：佐久間快枝さん
内容：佐久間さんの新しいお店にて試食。ビールとの相性やメニュー開発等について指導させていただきました。

第26回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月4日（火）　場所：銚子商業高校
対象：銚子商業高校生徒
内容：起業体験プログラムの進捗の確認。2つの事業のブラッシュアップを行いました。

第27回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月18日（火）　場所：オンライン
対象：銚子商業高校生徒
内容：起業体験プログラムの進捗の確認。2つの事業のブラッシュアップを行いました。

第28回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月24日（月）　場所：銚子市立高校

対象：教頭先生
内容：銚子市との探求授業など今後につながるよう、情報交換を行いました。

第29回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月25日（火）　場所：パンクチュアル銚子支社
対象：正木茂一（パンクチュアル社員）
内容：地場産品ブラッシュアップや販路拡大についてディスカッションを行いました。

第30回　ワークショップ（観光ビジネス）
日時：7月25日（火）　場所：銚子プラザホテル
対象：梅津佳弘（銚子市観光協会）
内容：銚子市観光ビジネスについての情報交換。インバウンドの訴求が早急に必要との意見が合致。早急にインバウンド向けのプログラムの整備と営業強化が重要等との深掘りした議論ができました。

第31回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月26日（水）　場所：銚子商工会議所
対象：銚子商工会議所職員
内容：今後、銚子市の若者をいかに取り込み、地元の若者のサポートプログラムを構築することが重要との意見を伝え、今後模索していきます。

第32回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月26日（水）　場所：県立銚子高校
対象：教頭先生
内容：探求事業など銚子市との連携を図れないか。課題と今後について議論しました。

第33回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月26日（水）　場所：Hennery Farm（ヘネリーファーム）
対象：安藤良一（JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子発表者）
内容：デジタル田園都市国家構想の予算を活用して参画したものの、うまくいっていないとのこと。どのようにしていくかアドバイスをさせていただきました。

第34回　ワークショップ（起業家サポート）
日時：7月26日（水）　場所：Hennery Farm（ヘネリーファーム）
対象：坂尾さん、佐久間さん、橘さん、石毛さん、宮本さん、宍戸さん

内容：地場産品の販路拡大をテーマに、これからの銚子市での展開についてディスカッションを開催。

第35回　ワークショップ（起業家サポート）

日時：8月18日（金）　場所：オンライン

対象：銚子チアーズ、味の素社

内容：地域食堂開催に向けて、具体的に進めていく座組みをディスカッションしていきました。

第36回　ワークショップ（地場産品ブラッシュアップ）

日時：8月17日（木）　場所：オンライン

対象：銚子市職員

内容：地場産品ブラッシュアップについて今後の対策を協議しました。

第37回　ワークショップ（移住定住）

日時：8月21日（月）　場所：オンライン

対象：銚子市職員、豊岡市職員

内容：8月25日の全体会議を進める上での銚子市と豊岡市をつなげ、円滑に会議が進められるようディスカッションを行いました。

第38回　ワークショップ（観光）

日時：8月24日（木）　場所：銚子市役所

対象：銚子市職員、地域おこし協力隊

内容：映像会議を開催し、ABC クッキングと連携した映像へのディスカッションを実施。

第39回　ワークショップ（地場産品ブラッシュアップ）

日時：8月24日（木）　場所：銚子市役所

対象：銚子市職員、パンクチュアル（守時社長）

内容：地場産品の販路拡大などについて、今後の対策を意見交換しました。

第40回　ワークショップ（起業家サポート）

日時：8月24日（木）　場所：ホテルルートイン銚子

対象：安藤良一さん、佐藤さん（企業人）

内容：デジタル田園都市銚子へ。スポーツ/リハビリテーションの側面から楽しく健康増進に寄与するプロジェクトをカヤック社での連携などを模索しました。

第41回　ワークショップ（公民連携事業）

日時：8月25日（金）　場所：銚子市役所

対象：銚子市民間事業者（地域おこし協力隊受け入れ事業者）、銚子市職員

内容：地域おこし協力隊（民間企業等受入型）　受入事業者　説明会　レジュメ

■第一部：受入事業者向け説明会

セミナー「地域おこし協力隊について」

講師：兵庫県豊岡市　くらし創造部　地域づくり課　移住定住・若者係長　沖中　正孝　氏　（オンライン）

内容：受入れに関する注意点や心構え　等

■第二部：市職員向け説明会

1　セミナー「地域おこし協力隊について」　2　意見交換

第42回　ワークショップ（移住定住）

日時：9月1日（金）　場所：オンライン

対象：ABC クッキング、三菱商事、パンクチュアル

内容：ABC クッキングとの商品開発などのワークショップを開催しました。その結果、今後、商品開発が可能という認識を共有したので、今後、具現化していきます。

第43回　ワークショップ（公民連携）

日時：9月29日（金）　場所：銚子市役所

対象：銚子市長

内容：　中間の報告と今後について説明させていただきました。

第44回　ワークショップ（公民連携）

日時：10月20日（金）　場所：銚子市内

対象：宮内さん、石毛さん他

内容：銚子市民イベント～子ども食堂について、味の素社を紹介しての座組、プログラムについてのワークショップを開催しました。

第45回　ワークショップ（公民連携）

日時：10月20日（金）　場所：銚子市役所

対象：銚子市長、副市長、職員

内容：カヤック柳澤社長らと今後の銚子市での取り組みについて議論

第46回　ワークショップ（公民連携）

日時：10月21日（土）　場所：銚子市内

対象：スープデザイン北川社長、カヤック佐藤氏ほか
内容：銚子市の魅力について、今後の商品開発に向けてのワークショップを開催しました。実際地元の商品を視察して、商品の差別化できるものを考案しました。

第47回　ワークショップ（公民連携）

日時：12月12日（火）　場所：株式会社パンクチュアル
対象：株式会社パンクチュアル社員
内容：商品開発等の現状と課題について、12 月の着地、12 月商戦についての対策についてワークショップを開催しました。

第48回　ワークショップ（公民連携）

日時：12月12日（火）　場所：銚子市内
対象：坂尾英彦
内容：坂尾さんが出展を予定している店舗、立地視察。店舗での展開、地域おこし協力隊員募集についての課題などディスカッションしました。

第49回　ワークショップ（公民連携）

日時：12月12日（火）　場所：銚子信用金庫、銚子商工会議所、銚子商工信用組合、株式会社内田食品、三菱商事株式会社
対象：　上記職員や社員
内容：JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子についての説明。また候補者などヒアリングさせていただきました。

第50回　ワークショップ（公民連携）

日時：12月30日（土）　場所：オンライン
対象：地域おこし協力隊、職員
内容：銚子市のプロモーション映像制作についてのコンセプトの確認、撮影スタッフ用員の確認、撮影現場、役者の方々の選定などのワークショップを開催しました。

第51回　ワークショップ（公民連携）

日時：1月10日（水）　場所：銚子商業高校（オンライン）
対象：銚子商業高校生
内容：JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子の発表について講義をしました。新しい事業プランなど付加価値の追求など提案しています。

第52回　ワークショップ（公民連携）

日時:1月24日(水)　場所:銚子市役所
対象:銚子市内事業者、一般参加者
内容:銚子セミナーを開催しました。銚子市の魅力、これからの経済や社会、外国人観光客の動向などについて講義をして、それぞれの事業のワークショップを開催しました。

第53回 ワークショップ(公民連携)

日時:1月24日(水)　場所:銚子ビール
対象:佐久間快枝さん、坂尾英彦さん、佐藤文彦さん(カヤック)、正木さん(パンクチュアル)銚子市職員
内容:商品開発について
① 現状のふるさと納税の報告 (今期着地) パンクチュアル
・成功実例 ・課題実例 ・課題実例の対策 ・今期で大きく伸びた自治体や商品など
・民間からの感想 ・行政からの感想
② 来期ふるさと納税額の計画 パンクチュアル
・計画根拠 ・そのために必要な施策 ・民間からの感想 ・行政からの感想
③ 長期ビジョン～50 億円を目指して
・ビジョン ・戦略
④ 地域商社設立について
これまでの推移 ・昨年度より、ふるさと納税拡大 ・実施してきた中間事業者の概要
・職員の課題(市役所の体制) ・各事業者へのヒアリング ・カヤック社 ・パンクチュアル社
・地域商社の存在(雇用創造、作業事業所の必要性) ・資本金 ・体制
・事業内容(ふるさと納税作業、地域おこし協力隊募集、他)

第54回 ワークショップ(公民連携)

日時:1月31日(水) 場所:オンライン
対象:横山大介
内容:横山さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの整理整頓をして、どこで事業化したいのかなどワークショップを開催しました。

第55回 ワークショップ(公民連携)

日時:1月31日(水) 場所:オンライン
対象:石毛理恵
内容:石毛さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの整理整頓をして、どこで事業化したいのかなどワークショップを開催しました。

第56回 ワークショップ(公民連携)

日時：2月3日（土）　場所：オンライン
対象：新谷一将
内容：新谷さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの整理整頓をして、どこで事業化したいのかなどワークショップを開催しました。

第57回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月6日（火）　場所：オンライン
対象：宮内由実
内容：宮内さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの整理整頓をして、どこで事業化したいのかなどワークショップを開催しました。

第58回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月7日（水）　場所：オンライン
対象：滑川穂奈美
内容：滑川さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの整理整頓をして、どこで事業化したいのかなどワークショップを開催しました。

第59回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月8日（木）　場所：オンライン
対象：石毛理恵
内容：石毛さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの付加価値の追求など事業モデル構築などワークショップを開催しました。

第60回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月9日（金）　場所：オンライン
対象：新谷一将
内容：新谷さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの付加価値の追求など事業モデル構築などワークショップを開催しました。

第61回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月13日（火）　場所：オンライン
対象：石毛理恵
内容：石毛さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの付加価値の追求など事業モデル構築などワークショップを開催しました。

第62回　ワークショップ（公民連携）

日時：2月14日（水）　場所：オンライン
対象：宮内由実
内容：宮内さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの付加価値の追求など事業モデル構築などワークショップを開催しました。

第63回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月14日（水）　場所：オンライン
対象：新谷一将
内容：新谷さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの付加価値の追求など事業モデル構築などワークショップを開催しました。

第64回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月14日（水）　場所：オンライン
対象：滑川穂奈美
内容：滑川さんの事業アイデアについてブラッシュアップ、事業プランの付加価値の追求など事業モデル構築などワークショップを開催しました。

第65回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月16日（金）　場所：茨城県境町
対象：佐久間快枝、坂尾英彦
内容：ふるさと納税で積極的に展開して、全国の成功モデルとなっている株式会社さかいまちづくり公社を視察。

第66回　ワークショップ（公民連携）
日時：2月16日（金）　場所：銚子市内
対象：若山みどり
内容：JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子のグランプリであった若山みどりさんの酵素風呂の施設を視察。課題について確認、資金調達、プロモーションなどについてアドバイスをさせていただきました。

第３章.　実施プロジェクト

3-1　地場産品ブラッシュアップ

地場産品ブラッシュアップのため、市長をはじめ職員、事業者との戦略会議（ワークショップを実施してきた。この結果、地場産品のブラッシュアップ、結果ふるさと納税額の事業が大幅に伸びたと自負しています。

以下提言書です。

茨城県境町　株式会社さかいまちづくり公社視察について（提言書）

2月16日に、茨城県境町を視察してきました。境町は地方創生事業で非常に成功しているモデルです。境町をベンチマークして、検証分析することで、銚子市の一助になると考えました。

境町は 2 万人程度の町ですが、マーケティング的な視点を主とし、自治体自らが旗振り役となって「稼ぐ自治体」を実現しています。

全国で初めて自動運転バスの試行をスタートしたり、ふるさと納税の額を短期間で急増させたりと次々とヒット商品を開発、全国からの視察が大変な数になっています。

以下は、一例です。

・ふるさと納税 59 億円（関東 1 位）

・住みたい町ランキング田舎暮らしの本　住みたい田舎ベストランキング（1 万人以上の町ランキング（人口グループ別）では、若者世代・単身者部門　全国で第 1 位

・子育て世代部門　全国で第 2 位（関東の町では 1 位）　北関東エリアランキング（全国 12 エリア別）、子育て世代部門　第 1 位、若者世代・単身者部門　第 1 位、若者や単身者の移住者の割合が高い　全国で第 3 位（関東の町では 1 位）、子育て世代の移住者の割合が高い　全国で第 4 位（関東の町では 1 位）他、多数の部門にランクインしました。

1.視察概要

場所　茨城県境町　道の駅さかい
日時　2 月 16 日（金）
参加　佐久間快枝さん、坂尾英彦さん、中川直洋

2.プログラム内容

・さかいまちづくり公社の取り組みについて
・自動運転乗車
・Citywave Tokyo sakaimachi　境町アーバンスポーツパーク
・S-LABb3rd（干し芋第二工場）視察

3.所見

地方創生事業では、最近テレビ番組の特番でも地方創生が取り上げられ、社会の関心も高まっていると思います。上記のように、ふるさと納税を活用して、さまざまな取り組みを積極的に実施して実績を作り、メディア等社会からも注目されています。それはいうまでもなく実績と成功が明確であるからではないでしょうか。

一方人口 2 万人の知名度の低く特産品もない境町で、なぜ 59 億円のふるさと納税額となっているのか、非常に興味深い自治体です。

境町のふるさと納税寄付額において返礼品の主な商品は米です。米はどの地域にもある商品ではありますが、「食べ比べセット」が人気となり、米特集などのプロモーションも積極的で寄付額を増やしています。また最近では、さつまいもブランドを立ち上げ寄付額を増やしています。

いずれにしても巧みな戦略を立案実行しています。

多額の寄付の使い道について

人口 2 万人の小さな町での、50 億円以上の寄付の使い道について疑問でありましたが、基本的にふるさと納税の寄付は「将来の投資に回す」ということでした。

ふるさと納税の寄付と地方交付金をうまく活用して、さまざまな街づくりの見える施設を構築しています。

・「さかいサンド」
・「道の駅レストラン茶蔵」
・「S-Gallery」
・アグリビジネスラボ（特産品開発）
・「モンテネグロ会館」
・「S-ブランド」
・アーバンスポーツパーク（sports-S）

・人工サーフィン場（sports-S）
・自治体では全国初、公道を定常運行する自動運転バス「さかいアルマ」
・境町地域産業研究開発拠点施設

どうして企業誘致が進むのか？

自動運転の会社が名古屋から本社を移転したと聞きました。さまざまな企業が積極的に参画していますが、境町では町長のトップセールスが目立ちます。視察には、議員の皆さんと同行して、現地でのコンセンサスを取るなどしているようです。民間企業は、行政リスクがあればあるほど消極的になります。そのためにも行政リスクを洗い出し行政の生産性を高めるなど、公民連携プログラムへの期待が高まっていると思います。

余談ですが、道の駅内にピザーラが出店をしていました。本来は、2 万人そこそこの町での商圏ではございませんが、ふるさと納税の商品券を活用することで招待出店をしたようです。ただし売上については計画を下回っているようでした。しかしふるさと納税の活用としての招待出店は、銚子丸などとも連携は図れるのではないかと思います。

どうして子育て世代が注目しているのか

境町のホームページにも大きく掲載していますが、「子育て支援日本一を目指し、茨城県境町は子どもたちの未来のために最大限の投資をしていきます！」というスローガンが目立ちます。

具体的には、「英語移住しませんか？」「25 年住み続けていただいた方に、土地と建物を無償譲渡！戸建の賃貸住宅「アイレットハウス オハナタウン」などユニークな取り組みで話題になっています。

補助金だけの支援でなく、地方創生移住を増やすアイデアを構築し、お金以上の付加価値を捻出しています。

どうして境町には経営感覚があるのか？

町長のプロフィールを見ると、企業出身のいわゆる経営のプロではない。どうして、これほどまでに民間感覚があるのか不思議に思い尋ねると、民間有識者を何人も参与やアドバイザーとして登用しているとのこと。私の知人もおり尋ねたところ、町長は常にアドバイザーの意見も聞きながら実行に移しているとのこと。しっかりアドバイザーの意見を汲み取る仕組みがあるとのことです。境町戦略会議があり、参与アドバイザーが委員として参加しています。

このようにアドバイザーを最大限活用することで、経営感覚が醸成しているのではないかと思います。

またガバナンスも健全です。 実装スキームの PDCA サイクル「境町ブランド」を本町および株式会社さかいまちづくり公社が、地域のブランド化の専門家を中心に検討し関連事業を実施、事業の進捗状況を本町の有識者機関である「境町戦略会議」に報告するとともに意見交換や

改善策等を検討することで、適切に PDCA サイクルを回しています。

これほど事業が大きくなり、役場だけで可能なのか？

役場職員の労働生産性が高いということは言うまでもございませんが、株式会社さかいまちづくり公社の存在が大きいです。さかいまちづくり公社は、社員数が、境町役場とほぼ同じくらいにまでになっているとのことです。給与形態も同様にしているとのことでした。

当初は、地域おこし協力隊を活用していたようでしたが、現在は一般採用をしているようです。このように株式会社で地域商社を作り、役場と地域商社が連携しているとのこと。さらに小さな行政を目指し、できる限り民間企業に仕事を増やしていることは注目できます。

さかいまちづくり公社の存在について

地元民間企業（お茶屋さん）が中心となり、稼ぐ地域商社として株式会社を立ち上げている点に注目したい。この手の地元地域商社は非営利企業にして、補助金や助成金を活用する事業が多いが、稼ぐことを念頭に置いている。だからこそマネジメント、マーケティングの重要性をより理解している。

（1）境町特産品開発・ブラッシュアップ事業

地元地域商社である株式会社さかいまちづくり公社に委託し、境町の特産品の開発、既存の特産品のさらなるブラッシュアップを行うことで、「境町ブランド」として PR をしている。

（2）境町ブランドアップ推進事業

「境町ブランド」を確立するため、ブランディングに精通した専門家等と連携し、本町のイメージづくりに向けた取り組みを行う。

まとめ

地域力創造アドバイザーとして、自治体に民間感覚が重要と述べてきましたが、まさに境町はマネジメントの重要性を認識して実践しており、マーケティングやターゲットを絞った政策を行なっております。

過去境町でも、危機的な財政難がありましたが、「ふるさと納税」「企業版ふるさと納税」「地方創生拠点整備交付金」「境町モデル」「企業誘致」のおかげで、改善し、危機を脱したとのことです。その中で、成功している最大の理由は、境町役場のマネジメントが確立されているためであり、町長と議会、職員が一体となって、地方創生事業を積極的に進めているからです。

民間企業が投資をする場合、将来性はもちろんでありますが、リスクヘッジも重要な論点になるかと思います。境町の安定した経営基盤や明確なビジョンがあるからこそ、民間企業はもちろんですが社会も大変興味を抱いているのではないでしょうか？

株主会社さかいまちづくり公社は、銚子市のこれからのまちづくりに大変参考になるかと思います。銚子市でも公民連携事業室がございますが、公民連携事業を兼ねた、銚子市と連携した株式会社による地域商社が必要ではないでしょうか？

3-2 移住定住プロジェクト

移住定住の取り組みについて

地域の活性化及び地域産業の振興を目的に、民間企業で働く地域おこし協力隊を提唱し、実行に移すことになり、民間企業から 9 社の応募がありました。今後も募集を行うが、プロモーションをかける予算が限定的なため、民間企業からの発信が重要と考えます。地元起業家も民間企業として参画しているので、個別での募集も強化するように指導していきます。

3-3 JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子

起業希望者向けのビジネスコンテストを開催する。また、コンテスト開催前の起業家セミナーやコンテストでの発表をブラッシュアップするための支援を行います。

■場所 銚子市保健福祉センター（千葉県銚子市若宮町4−8）
■日程：2024 年 2 月 17 日（土）
■主催：公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト・弥蔵舎株式会社
■協力：銚子市、銚子商工会議所、一般社団法人 銚子市観光協会、
千葉県立銚子商業高等学校、銚子信用金庫、銚子商工信用組合
■サポート企業：ヤマサ醤油株式会社、三菱商事株式会社、
銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、
レオスキャピタルワークス株式会社、面白法人カヤック、株式会社パンクチュアル、
株式会社ピーストラベル、株式会社 oriai、株式会社レイメイ藤井、
株式会社大和システムクリエート、株式会社アイサイト、弥蔵舎株式会社
■参加学校：銚子商業高等学校
■事務局：銚子市、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト（弥蔵舎株式会社）

JAPAN CHALLENGER AWARD　2024 in 銚子　開催報告書

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

1

JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子とは

　起業などの新事業の創出をサポートする市のプログラムです。地域の未来を活性化するため、さまざまな取り組みが行われています。当日は選りすぐりのプレゼンターたちが、新しい事業プランを銚子市の皆様の前で発表します。
　発表された事業プランは、審査員の審査を受けてグランプリや準グランプリが選ばれます。受賞者には、チャレンジ支援金や事業のサポートの授与が予定されています。

3

JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子セミナー及び個別ブラッシュアップセミナー

JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子セミナー

日程：１月24日（水）
場所：銚子市役所
講師：中川直洋
内容：地方起業の教科書をテキストに使い５つのステップ（理念、戦略、社会を知る、パートナー、収益モデル）を講義。自分の事業アイデアを事業モデルにするワークショップを行いました。
。

JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子個別セッション

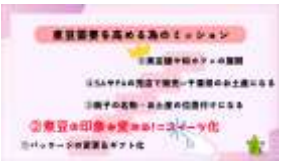
1月下旬から個別の指導（各自2回）
オンライン（ワンツーワン）
講師：中川直洋
発表に向け、事業モデルのブラッシュアップや発表の極意、資料作成など各人2回個別に指導した。

5

チャレンジャー１番　滑川穂奈美

ヘルシースイーツつくっちゃいました～後継ぎ娘のイノベーション～

内田食品で後継ぎ娘が煮豆のイノベーションを起こし企画した商品がヘルシースイーツ。具体的には、おまめのパンナコッタを商品開発しました。今後銚子商業高校とのコラボ開発、三菱商事に提案してコンビニでの販売、ヤマサ醤油の人気メニュー醤油ソフトとのコラボを提案しました。



6

チャレンジャー2番　石毛理恵

人と想いをつなぐ場所づくり～地域食堂からわくわくを届けたい～

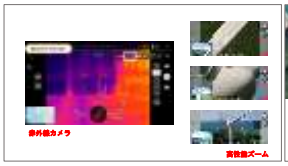
サラリーマンの旦那さんから銚子に戻り農家を継ぎたいと打ち明けられ、銚子に移住を決心。農業を営みながら、自分の活動拠点を「地域食堂」を同じく発表した宮内さんと活動を開始します。

7

チャレンジャー3 番目　横山大介

『 安心安全な生活をドローンで守る ！』　子供たちに繋げる産業ドローンの未来

奥様が銚子出身で移住を決意。運送会社に勤めながらコロナ禍でドローンチームと出会いドローンのこれからの事業を見出します。洋上風車等での産業用の活用や震災時での活用など、ドローンの可能性を見出す事業プランとなりました。



8

チャレンジャー4 番　宮内由実

キャベツで銚子を元気にしたい！

銚子市の農家に嫁ぎ、美味しいキャベツの活用としてドライキャベツを提案。ドライキャベツを使い、うどんなどにトッピングして、銚子名物を提案。キャベツで銚子を盛り上げていく事業プランを発表いただきました。見事グランプリを受賞しました。

9

チャレンジャー5 番　　新谷一将

シェアハウス型老人ホーム「 輪かち合い」

銚子市に最近移住。今回のプログラムを知り応募いただき、銚子市での将来の事業プランを発表しました。
高齢者向けのシェアハウスでは、ただ単に家賃や介護等の提案にとどまらず、家事と趣味をシェアする、介護従事者の新しい収益として家屋のオーナーとしての提案など事業モデルを発表いただきました。

10

審査員

各専門家による５名の審査員の皆さんがチャレンジャーの事業プランに対してコメントをしました。

野口光男審査員長
銚子商工会議所副会頭

淵岡彰介審査員
ヤマサ醤油株式会社常務取締役経理総務本部長

佐久間 快枝
チョウシ・チアーズ株式会社 代表取締役

白井宏治審査員
三菱商事株式会社　銚子支店長

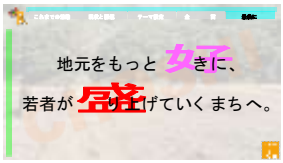
山中 光茂
しろひげ在宅診療所 院長

11

特別企画

千葉県立銚子商業高等学校　ビジネス研究グループ

ビジネス研究グループのこれまでの活動、現状と課題、テーマ設定、企画、運営について発表いただきました。銚子市の若者が食についての関心が低いことを課題とし、地域の起業家を連携したイベントプログラムを紹介いただきました。



12

特別企画

過去のチャレンジャーの報告

前回の銚子チャレンジャーの方々にこの１年間の発表をいただきました。

前回のグランプリの宮崎啓太さん
昨年の発表後に、Uターン型の地域おこし協力隊として銚子に移住。
銚子市の観光の映像など手掛けています。今回のオープニング映像も、宮崎さんが撮影、編集しました。

安藤良一さん
新しいe-sportsのアプリ開発の発表でした。実際にある公園などの会場をオンライン上で作成し、その会場内で車を走らせフィールドをより多く獲得した者が勝利、といったゲーム内容となっております。既にローンチした上で世界大会なども開催しており、一定のユーザー確保は出来ていますが、銚子と一緒に取り組めることを模索しているとの事。

宮本康正さん
銚子市内のバーレストランをシェアキッチンn営業をしていない昼間を活用して営業をしています。
ボリューミーで美味しいと定評。
今回のスタッフ弁当としても「ろくでなしバーガー」を提供いただきました。

13

記録写真

14

スタッフ

プロデューサー/演出　中川直洋
ディレクター　柴田花菜
カメラマン　望月瑛司
タイムキーパー　佐藤文彦

司会　平野裕加里

オープニング映像
撮影・編集　宮崎啓太
音楽　中川直洋
出演　望月瑛司　前川てっせい　野副
ナレーション　平野裕加里
ご協力
銚子市役所観光商工課　銚子電気鉄道株式会社
カネ八商店　ウオッセ　かねまた水産　山いけす
監督　和田道也
制作　中川直洋　弥蔵舎株式会社

15

3-4　地域起業家のサポート

すでに地域で活動している起業家の事業展開をサポートするセミナーやワークショップ等を開催しました。

日時:4月12日(水)　完全プライベート型ジム「銚子 eGYM」のオープンを視察

日時:5月15日(月)　場所:Hennery Farm(ヘネリーファーム)にて
地元起業家の皆さんとのワークショップ　宮本康正さんのハンバーガー試食

日時:7月3日(月)　場所:銚子市　TAS
宮本康正さんのメニュー試食

日時:7月4日(火)　場所:銚子ビール　佐久間さんの新しいお店にて試食。

3-5　高校生起業体験プロジェクト

日時:4月12日(水)　場所:銚子商業高校

銚子商業高校生徒商品開発したメニュー開発を試食

銚子商業高校の取り組みについて起業体験プログラムを通じての報告書です。

千葉県立銚子商業高等学校

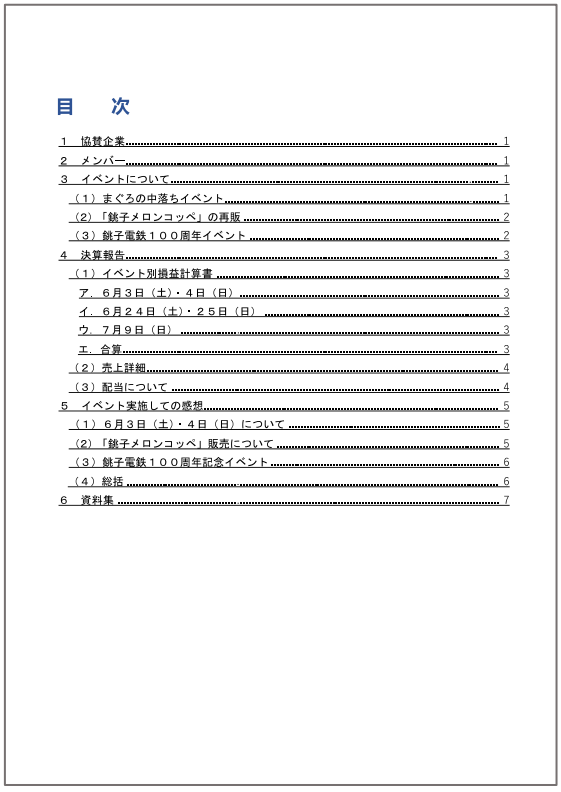
ヤマサ　三菱商事

起業体験プログラム
最終報告書

令和5年7月27日（木）

Assort Memory

Crazy Spoon



目　次

1　協賛企業 1
2　メンバー 1
3　イベントについて 1
（1）まぐろの中落ちイベント 1
（2）「銚子メロンコッペ」の再販 2
（3）銚子電鉄１００周年イベント 2
4　決算報告 3
（1）イベント別損益計算書 3
ア．６月３日（土）・４日（日） 3
イ．６月２４日（土）・２５日（日） 3
ウ．７月９日（日） 3
エ．合算 3
（2）売上詳細 4
（3）配当について 4
5　イベント実施しての感想 5
（1）６月３日（土）・４日（日）について 5
（2）「銚子メロンコッペ」販売について 5
（3）銚子電鉄１００周年記念イベント 6
（4）総括 6
6　資料集 7

イ．Assort Memory
２０２１年度本校開発の「ピーナツ木の葉パン」を同会場にて販売。
１袋５枚入りを１１０袋販売し、完売した。
単価：４２０円

（２）「銚子メロンコッペ」の再販
日　　時：６月２４日（土）・２５日（日）　１０：３０～
天　　候：２日間快晴
実施場所：イオン銚子店１階食料品店
（銚子市三崎町２丁目２６６０－１）
協力企業：イオンリテール株式会社様（場所提供）
合名会社　山口製菓舗　様（仕入業者）
販売商品：「銚子メロンコッペ」※アムスメロンを使用
販売価格：４８０円（税抜き）　５１８円（税込み）
詳　　細：
ア．販売までの過程
２０２２年度に本校で開発した「銚子メロンコッペ」を改良し、再販するこ とを Assort Memory で考え、新しい「銚子メロンコッペ」を考えた。山口製菓　舗様と打ち合わせを行い、改良を進めた。結果としては、前回同様の「銚子メ ロンコッペ」を販売した。
イ．当日の販売
１日限定２００個で販売を行い、両日ともに１５：００頃には完売した。２日目の販売時には県立君津商業高校の生徒も参加し、ともに販売活動を行った。

（３）銚子電鉄１００周年イベント
日　　時：７月９日（日）　１０：００～１６：００
天　　候：快晴
実施場所：犬吠駅前広場
（銚子市犬吠埼９５９５－１）
協力企業：銚子電気鉄道株式会社　様（場所および商品提供）
合名会社　山口製菓舗　様（仕入業者）
販売商品：銚子電鉄グッズ
ピーナツ木の葉パン（１袋４５０円）
詳　　細：銚子電気鉄道様から商品を無償でご提供いただき、販売。多くの鉄道ファンが当日集まり、買っていただいた。ピーナツ木の葉パンは１００個販売し、完売した。

１　協賛企業
ヤマサ醤油株式会社
様
三菱商事株式会社　様

２　メンバー
Assort Memory
これまで本校が開発してきた商品を改良し、再販し、地域の方々に再び感動を与えたいという目的で作られた会社。

社　　長	板垣 知可子	企 画 担 当	上田 蒼愛
副 社 長	滑川 聖人	総 務 担 当	大川 零央
広 報 担 当	小林 みのり	営 業 担 当	飯島 卓社

Crazy Spoon
体験型観光が少ない銚子市で観光客が「あっ！」と驚く体験をしてもらうためのイベントを企画するために作られた会社。

社　　長	宮崎 翔矢	企 画 担 当	浪川 蓮
副 社 長	宇佐美 百花	総 務 担 当	廣田 一貴
広 報 担 当	山田 ゆめ	サービス兼デザイン担当	小沼 結香

３　イベントについて
（１）まぐろの中落ちイベント
日　　時：６月３日（土）　１２：００～１５：００※台風の影響により時間変更
６月４日（日）　１１：００～１４：００
天　　候：３日雨のち晴れ　４日快晴
実施場所：銚子セレクト市場　テナントＡ棟―１
（銚子市双葉町３―６）
協力企業：ヒューマンライフ株式会社　様（場所提供）
有限会社　カネハ商店　様（仕入業者）
合名会社　山口製菓舗　様（仕入業者）
詳　　細：
ア．Crazy Spoon
まぐろの中落ちをお客様自身で取っていただき、最後召し上がっていただくイベント。店内で召し上がるお客様にはお味噌汁と中落ち以外のお刺身を提供。２日目は中落ちの状態が良くなかったため、びんちょやひらめ、まぐろを取り放題にした形へ変更。お客様８０人を想定していたが、台風や広報不足などの要因により達成できなかった。
客単価：１，５００円（店内飲食）
１，０００円（テイクアウト）

４　決算報告
（１）イベント別損益計算書
ア．６月３日（土）・４日（日）

損 益 計 算 書
令和 5年6月3日～6月4日

費用	金額	収益	金額
売上原価	162,768	売上	118,200
販売費及び一般管理費	9,519	当期純損失	54,087
	172,287		172,287

イ．６月２４日（土）・２５日（日）
単価４８０円×４００個＝１９２，０００円
※本イベントは販売のお手伝いのため、決算報告なし。

ウ．７月９日（日）

損 益 計 算 書
令和5年7月9日

費用	金額	収益	金額
売上原価	38,880	売上	74,300
販売費及び一般管理費	550		
当期純利益	34,870		
	74,300		74,300

エ．合算

損 益 計 算 書
令和 5年6月3日～7月9日

費用	金額	収益	金額
売上原価	201,648	売上	192,500
販売費及び一般管理費	10,069	当期純損失	19,217
	211,717		211,717

（２）売上詳細

６月３日（土）・４日（日）

Crazy Spoon

売上高	72,000
売上原価	120,000
販売費及び一般管理費	9,519
当期純利益（損失）	-57,519

Assort Memory

売上高	46,200
売上原価	42,768
販売費及び一般管理費	0
当期純利益（損失）	3,432

７月９日（日）
銚子電鉄100周年イベント
ピーナツ木の葉

売上高	45,000
売上原価	38,880
販売費及び一般管理費	0
当期純利益（損失）	6,120

銚子電鉄グッズ

売上高	29,300
売上原価	0
販売費及び一般管理費	550
当期純利益（損失）	28,750

（３）協賛金について
ご協賛いただいている金額：三菱商事様　　￥　６０，０００
ヤマサ醤油様　￥　６０，０００
計　￥１２０，０００

5　イベント実施しての感想

自己評価→５段階（５：良い　１：悪い）

（１）６月３日（土）・４日（日）について（自己評価平均：４．０）

【良かった点】
・お客さんが少ない中でも呼び込みをしっかり行えた。
・良かったポイントは、地域の方々の暖かさを知ることができたことです。投資していただいた三菱商事さん、ヤマサ醤油さん、場所を貸していただいたセレクト市場さん、カネ八商店さん等、みなさんの協力があったからこそできたイベントだと思います。
・みんなで一致団結し、最後まで呼び込みをできた。
・初めての販売だったがしっかりと集客などを積極的に行ったこともあり無事全部売れた。（ピーナツ木の葉パン）

【悪かった点や改善点】
・自分なりに頑張ったけど、もうちょっと盛り上げることができたのかなと思う。
・イベント内容は良かったけど、初めての試みなので、場所、値段等の設定でつまずくことがあったので、この経験を活かして、次は想像力を働かせられるようにしたい。
・広告をもっと早めに出せば今回よりもお客さんを呼び込めた気がする
・もっと宣伝をする。呼び込みは恥ずかしがらない。
・僕が魚を扱った事業を行いたいと言って始まったイベントでしたが、魚が取れる時期が早まったり、台風などの影響があり、自分のマネジメント能力に限界が来て、イベントの開催場所やプロモーションなどが甘かったと思った。
・悪かった点は、宣伝、チラシ配りが甘かった、場所が今回のイベントに向いてなかった、そして、何より、自分の意識不足だと思います。
・広報がうまくいかなかったのと悪天候のせいでクレイジースプーンの方の集客が良くなかったのは残念だった。
・もっと事前から宣伝活動をするべきだったと思う。

（２）「銚子メロンコッペ」販売について（自己評価平均：４．１４）

【良かった点】
・呼び込みをし、実際に来てくださったお客さんが喜んでくれたから。
・人通りは悪くはなく、チラシを見て足を運んでくださった方もおり、イオンという所は良かったと思う。
・みんなよく呼び掛けが出来ていた。
・全部売れるように同じメンバーと協力して全部売れることができた。
・イオンの中を隅々まで回って宣伝活動をしたから。

【悪かった点や改善点】
・再販という形で、私たちが考えた案が実行出来なかったことが残念だった。
・前回の商品との相違点や買いたいと思っていただけるような工夫が足らなかったと猛省しております。次の機会があれば、商品のアピールポイント等自信を持って売りに出せる商品を改良、発案したいです。

（３）銚子電鉄１００周年記念イベント（自己評価平均：４．４０）

【良かった点】
・ピーナッツ木の葉パン完売、銚子電鉄のグッズもそこそこの売り上げがあったと思うので、良い結果だったと思う。
・人の賑わいなどから、銚子電鉄は全国から愛されているんだと再認識できたこと。
・銚子商業の売り場から出て、ピーナッツ木の葉パンを売りに行った作戦はとても良かったと思う。

【悪かった点や改善点】
特になし。

（４）総括

「 地域活性化のための活動を通して、学んだことやこれからどのように生かせるのか」

・最も大切に思ったのは、みんなの団結力だった。お互いに意見を伝えて、一緒に考えることで、とても楽しいものが作れることがよくわかった。社会に出て、新しい環境で過ごしていくことになった時、周りの人との輪を広げることに活きていくと思う。
・商品をただ売るだけではなくてお客さんとのコミュニケーションを上手くとることも大切だと学んだ。
・事業をすることの大変さを知った。学んだことを生かして、みんなと協力して話を進め、最後まで精一杯仕事を全うしたい。
・こちら側が本気で売りたいという気持ちを持って商品を紹介しないと、お客さん側も買いたいと思って貰えないんだなぁと、販売が甘くないことを学べました。これからはあまり販売等に関わりは無い人生になると思いますが、１つの経験として良い活動だったと思います。
・銚子の方々の温かさ、地域復興への思いをダイレクトに知ることができて、本当によかったです。人生にあるかないかわからないような貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。
・ものの販売やイベントの開催をするのに、広報の大切さだったり開催者側の動き方を知る良い経験になった。
・自分達で企画を考えるのがとても難しいと感じた。また販売するまでの工程がとても大変であることが学んだ（特に何を売るのかやどこで売るとかなど）。でもこの活動を通して今後働く時にどうしたら効率よく販売や仕事を行えるかの勉強になった。
・色々な人と触れ合って学ぶことが多かったです。千葉科学大でやったイベントでは色々な大人が発表してその完成度の高さに驚きました。その後に名刺交換をしてるのを見てこれが大人の世界かと思いました。
・宣伝の大切さを知った。
・消費者に買ってもらうというのはめっちゃ考えても難しいというのがわかった。面接で活かせそうと思った。

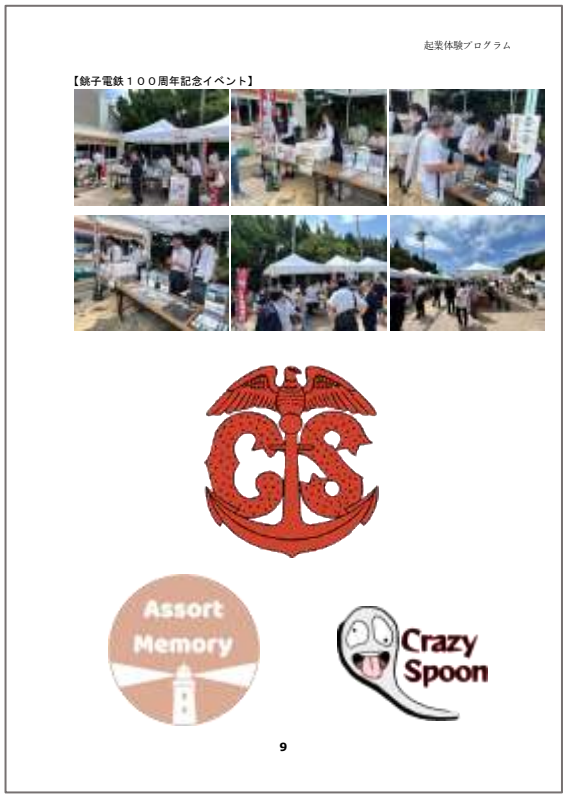
6　資料集

6月3日・4日イベントポスター

銚子メロンコッペＰＯＰ広告

当日の様子
【６月３日・４日】

【銚子メロンコッペ販売】



JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子の発表資料より

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
Assort Memory

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
銚子の若者が銚子の食について興味・関心がない

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
銚子の若者が銚子の食について興味・関心がない
銚子市の食料自給率
240%

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
銚子の若者が銚子の食について興味・関心がない
銚子市の食料自給率
240%

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
銚子の若者が銚子の食について興味・関心がない
銚子市の食料自給率
240%

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
銚子の若者が銚子の食について興味・関心がない
銚子市の食料自給率
240%

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
銚子の若者が銚子の食について興味・関心がない
銚子市の食料自給率
240%

銚子の若者が銚子の食について興味・関心がない
若者の人口流出を進めてしまう

銚子の若者が銚子の食について興味・関心がある
若者の人口流出は進まない

住み続けられるまちへ！！

銚子の食

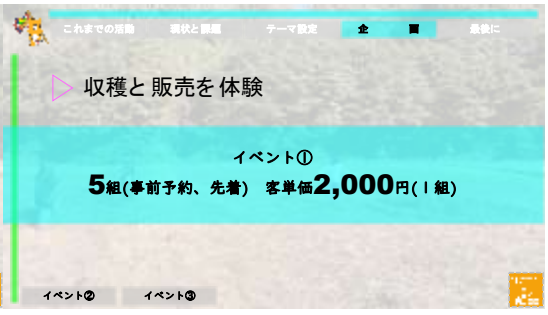
銚子の食
11
住み続けられるまちづくりを

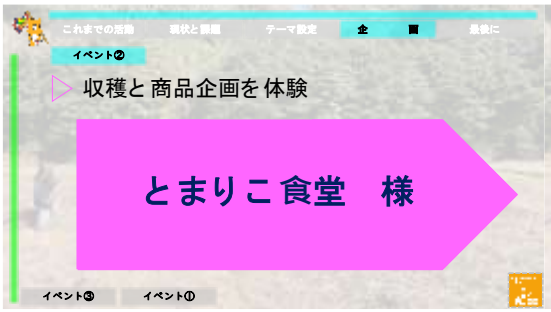
ターゲット
銚子に住む小学生から高校生

生　産
消費者

イベント①
イベント②
イベント③

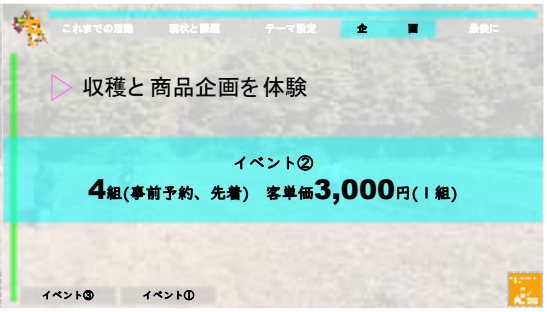
イベント①
収穫と販売を体験
収穫
販売
銚子の農家さんの畑で収穫体験！！


収穫と販売を体験
イベント①
5組(事前予約、先着)　客単価2,000円(1組)


これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
イベント②
収穫と商品企画を体験
とまりこ食堂　様
イベント③
イベント①

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
イベント②
収穫と商品企画を体験
とまりこ食堂　様
イベント③
イベント①

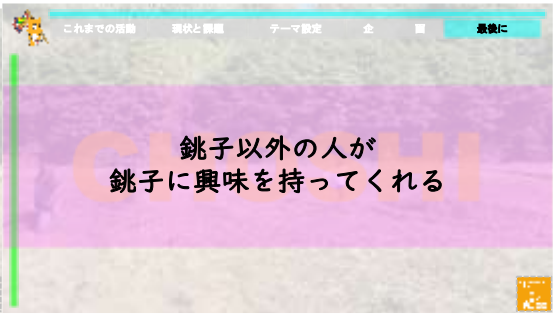
これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
イベント②
収穫と商品企画を体験
とまりこ食堂　様
「食」の重要性
イベント③
イベント①

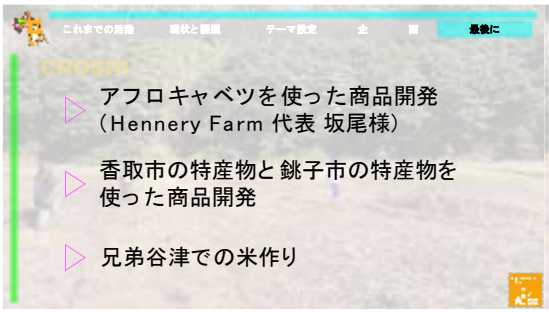

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
収穫と商品企画を体験
イベント②
4組(事前予約、先着)　客単価3,000円(１組)
イベント③
イベント①

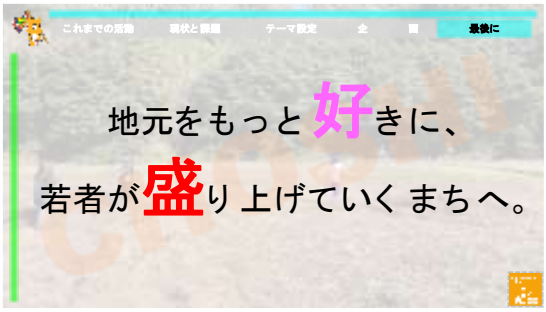
これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
イベント③
調理を体験（ BBQ）
銚子スポーツタウン
イベント①
イベント②

イベント③
調理を体験（BBQ）
BBQ

これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
興味・関心を持つ
また戻ってきたくなる街


これまでの活動
現状と課題
テーマ設定
企
画
最後に
銚子以外の人が
銚子に興味を持ってくれる





3-6　観光プログラム

インバウンド誘客促進のための観光プログラムを立案検討しました。

銚子市観光ビジネスについての情報交換。インバウンドの訴求が早急に必要との意見が合致。早急にインバウンド向けのプログラムの整備と営業強化が重要等との深掘りした議論ができました。

3-7 銚子市民イベント～子ども食堂の取り組みについて

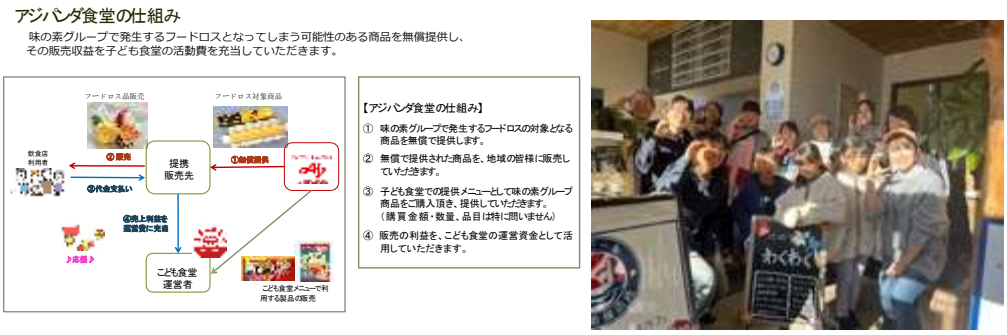
味の素株式会社の味パンダのスキームを構築しました。このスキームを銚子チアーズと地元事業者 ippolabo に紹介し 11 月 18 日、12 月 23 日に「地域食堂わくわく×味パンダ食堂」を実施しました。

味の素プロジェクトでは第一回 11/18 提供数 79(大人 45 子ども 34)

第二回 12/23 提供数 62(大人 31 子ども 31)

味の素社のコーヒーポーションは 480 袋ご提供いただき 10/20 販売開始、1/28 完売です。

売上金額は 47500 円でした。これを原資にイベントを開催することができました。



3-8　銚子市 PR 映像制作

全国の評価の高い観光映像を銚子市の既存の観光映像と比較した勉強会を開催。最終的には、新しい銚子の観光映像を制作しました。

映像制作

銚子市のプロモーション映像をプロデュースしました。

制作は、銚子市地域おこし協力隊の皆様にお願いしました。

撮影・編集　宮﨑啓太　音楽　中川直洋　出演　望月瑛司　前川てっせい　野副

ナレーション　平野裕加里

協力　銚子市役所観光商工課　銚子電気鉄道株式会社　カネハチ商店　ウオッセ21

かねまた水産　一山いけす

監督　和田道也

制作　中川直洋　弥蔵舎株式会社

以上